

## 知の拠点としての新図書館サービス検討委員会 「健康・安心・防災情報サービス分科会」まとめ

### 1 開催の目的

- (1) 図書館・連携先双方にとってメリットや効果のあるサービス・取組等を具体的に検討し、その検討結果を図書館サービス計画等に反映する。
- (2) 新図書館でのサービス・取組等を行う上で必要な関係機関との連携・協力体制を構築する。
- (3) 関係機関との協働による、互いの強みを生かした、質の高い課題解決支援サービスを実施する。

### 2 開催日時及び検討内容

開催日時	検討内容
○第1回 平成28年1月22日 (※医療、保健、福祉分野)	・事務局説明（目的・スケジュール等） ・県立図書館の見学 ・講演：「高知県における保健医療政策と新図書館」 【講師】：塚田 薫代 氏（静岡県立こども病院医学図書室） ・検討内容の協議及び意見交換
○第2回 平成28年5月26日 (※医療、保健、福祉分野)	・図書館における課題解決サービス（DVD上映） ・レファレンス等について説明 ・前回の分科会を踏まえ図書館との連携について検討 ・さらなる連携の可能性について検討
○第3回 平成28年6月1日 (※防災分野)	・図書館の取組の説明・紹介 ・各関係機関の事業内容の説明 ・連携・協力したい取組等や連携のあり方について検討
○第4回 平成28年7月6日 (※医療、保健、福祉分野)	・講演：「連携による健康情報サービスの展開」 【講師】：田村 俊作 氏（慶應義塾大学 名誉教授） ・分科会での意見等を踏まえたサービス・取組の検討 ・関係機関との連携による取組等について検討
○第5回 平成28年8月4日	・前回分科会までの協議等を踏まえたサービス・取組の検討 ・まとめに向けた検討内容の整理について

### 3 分科会での主な意見等

- 図書館資料・情報の利活用と整備・充実について
  - (1) 予防、リハビリ、栄養管理、職場復帰等、生活を支える資料の充実
  - (2) 資料提供にあたっては、選書に必要な当該分野の専門知識の継続的な習得が必要
  - (3) データベースの整備・充実
- 連携・協力してできることについて
  - (1) 医療機関図書室との連携による相互貸借や文献複写、電子ジャーナルの提供
  - (2) 関連本の新着リストを専門機関のフェイスブック等に掲載
  - (3) 関係機関との情報共有による健康・医療情報に関するイベント一覧の作成
  - (4) 相談内容に応じて適切に専門機関を紹介できる仕組みづくり

- 新図書館スペース・設備等の活用、新図書館を活用したPR
  - (1) 関係機関の相談会、研修、講座等の場として活用
  - (2) がん予防の啓発や認知症等のコーナーの設置
  - (3) 自主防災活動の普及・啓発や動機づけとなるコーナーの設置
  
- 図書館サービスのPR・周知
  - (1) 専門機関の発行する広報誌・情報誌等への図書館サービス情報の掲載
  - (2) 関係機関のホームページにリンクを貼ることによる新規ユーザーへの情報発信

#### 4 主な具体的取組

- (1) 専門機関が実施する講演会や講座等への出前図書館の実施
- (2) 講座内容に合わせたブックリストの提供
- (3) 専門機関への図書の特貸
- (4) 図書館での企画展示の実施
- (5) 訪問による図書館サービスのPR・周知

#### 5 主な成果

- (1) 専門機関との関係づくり
  - ・課題解決支援サービスを行うための人脈形成
  - ・相互の業務に関する理解と相互利用の促進に向けた機運の醸成
- (2) 図書館サービスの周知
  - ・リクエストによる専門図書の購入やレファレンス・サービス、データベース導入等の関係機関への周知
- (3) 新図書館で実施するサービス・取組の具体化と方向性の整理
- (4) 司書の人材育成
  - ・健康・安心・防災情報に関する知識の向上や情報の入手、専門機関の業務の把握
  - ・外部の方とのコミュニケーション能力の向上
  - ・他県の先進的な取組事例の学習と視野の拡大
  - ・現状・課題の再認識と資料作成スキルの向上
  - ・県市の司書の連帯感の向上と連携の強化